

不登校児童生徒に対する支援の状況について（概要）

項目と本市の状況	詳細（根拠・参考） 資料
<p>① 不登校の現状</p> <p>【令和6年度の現状】</p> <p>小学校：665人 中学校：918人 合計：1,583人</p> <p>※令和5年度までは総合教育会議資料を参考</p>	<p>・令和6年度総合教育会議資料（一部抜粋）</p>
<p>② 不登校児童生徒に対する支援の各課の取組（船橋市）</p> <p>【指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内教育支援センターを全小・中・特別支援学校に設置 ○人員の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・小・特別支援学校にはスクールアシスタントを週5日、1日4時間配置 ・中学校には加配教員が配置されていない10校にピアサポーターを週3日、1日4時間配置 ○スクールカウンセラーの配置 ○オンライン学習教材「デキタス」の運用 ○不登校相談リーフレットの作成 ○ふなばし情報メール（不登校支援情報の配信） ○フリースクールとの情報交換会 <p>【総合教育センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育相談事業 <p>対象：市内在住の小・中・特別支援学校の児童生徒とその保護者</p> <p>取組：教育全般の相談。電話相談、面接相談</p> <p>場所：総合教育センター内</p> ○サポートルーム事業 <p>対象：市立の小・中学校に在籍又は市内に在住している児童生徒</p> <p>取組：学校外の居場所として、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善のための相談・指導を行い、社会的自立へ向けての支援を行っている。</p> <p>場所：「ひまわり」峰台小学校内</p> <p>「すずらん」古和釜中学校内</p> ○スクールソーシャルワーカー配置事業 <p>対象：市立小・中・特別支援学校・高等学校に通う児童生徒</p> 	<p>不登校相談リーフレット</p>

	<p>取組：問題解決に向けて、福祉の専門的な知識や経験を活用し、児童生徒が置かれた環境に働きかけ等をして、支援を行っている。</p> <p>場所：学校拠点型とし、26中学校区と船橋高等学校に配置</p> <p>○新しい居場所づくり支援事業 ふれあい「夢のふなっこ」</p> <p>対象：市立の小・中学校に在籍又は市内に在住している児童生徒</p> <p>取組：関係機関へも通えず家庭にひきこもっている児童生徒のために、新たな居場所づくりとして家庭訪問や教育相談を行っている。</p> <p>場所：青少年会館</p> <p>【青少年センター】</p> <p>○学校、家庭、児童生徒からの相談（電話・メール・来所）受付</p> <p>○不登校児童生徒の通所</p> <p>○一宮ふれあいキャンプ</p> <p>○小中学校の訪問による情報収集と効果的な支援の検討、助言</p>	
③	<p>各課との連携体制</p> <p>○こども家庭部で開催している「子どもの居場所づくに関する庁内協議会」で情報共有</p> <p>○サポートルームの体験活動や青少年センターの一宮ふれあいキャンプに指導課職員が参加</p> <p>○不登校対策会議を年5回開催</p> <p>内容：各関係機関における相談及び活動状況の報告</p> <p>各活動における相互協力体制について確認</p> <p>参加者：指導課、青少年センター、夢のふなっこ、総合教育センター教育相談班、サポートルーム、こども家庭支援課</p>	
④	<p>(参考)不登校児童生徒に対する千葉県の取組</p> <p>○オンラインでの授業配信「エデュオプちば」</p> <p>○メタバースによる居場所の提供</p> <p>○千葉県版児童生徒・保護者のサポートガイド</p> <p>○フリースクールへの助成</p> <p>○スクールカウンセラーの配置</p>	